

「大内文庫展」 展示一覧

展示期間：11月13日(金)～11月30日(月)



大内文庫とは

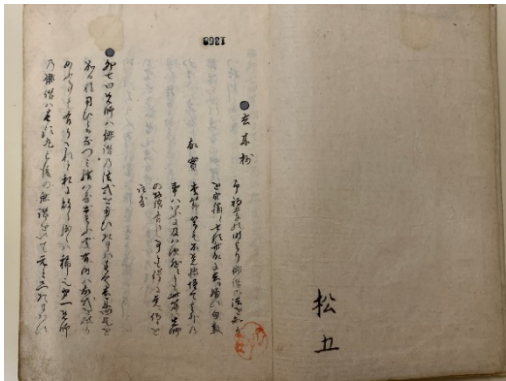
平成15年9月に亡くなられた、鹿児島大学名誉教授・文学博士、大内初夫氏が収集された俳諧書類で、江戸時代(元禄期)から明治中期にかけての俳諧書298点445冊、俳諧書複製本23点、軸物18点、器財(文台)1点を内容とする。

大内文庫は元禄8年刊『水仙畑』・同10年刊『掃除坊主』などの古版も含むが、多くは江戸中・後期の俳書を主とする。その中には、「国書総目録」に載っていない版本60点余、注目すべき貴重な写本10数点も含まれている。また、半数近くが九州関係俳書であることが特筆される。大内文庫の特色を、九州に焦点を定めた、全国唯一の俳諧コレクションだと称しても過言ではない。

含まれる俳書は、近世中・後期を例にとると、美濃派・淡々系・花の本系など予想されるすべての俳系が網羅されている。さらに明治の旧派俳句の俳書も集められている。従って、大内文庫は、近世中・後期から明治中期にかけての俳壇の連続的推移を考察し得る資料がそろっていることになる。つまり、大内文庫の九州俳書を見ることによって、俳諧というジャンルの、近世中・後期から明治に至る史的展開をたどることが可能になる。

俳諧書の部

『去来抄』 写半 一 去来 著
天明二蛙夕坊奥 宇鹿伝来本



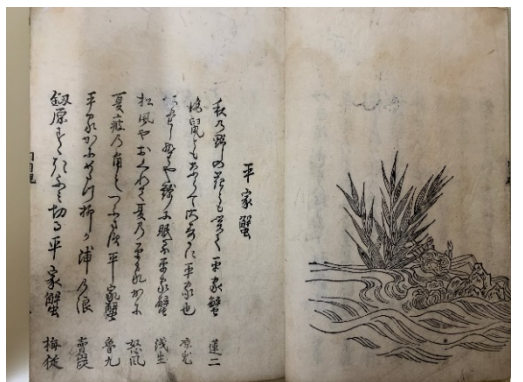
『掃除坊主』 刊半 二 平 編
元禄一〇序刊



『水仙畑』 刊半 一 立 編
元禄八序刊



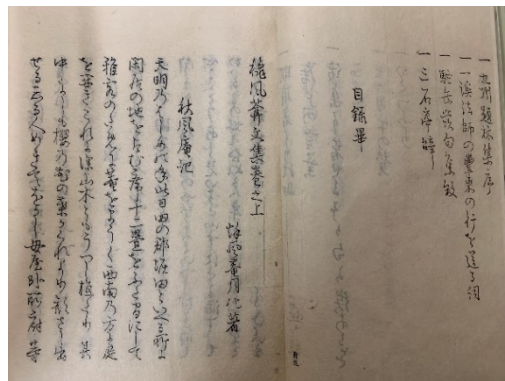
『門司硯』 刊半 一 程十 編
享保一三序刊



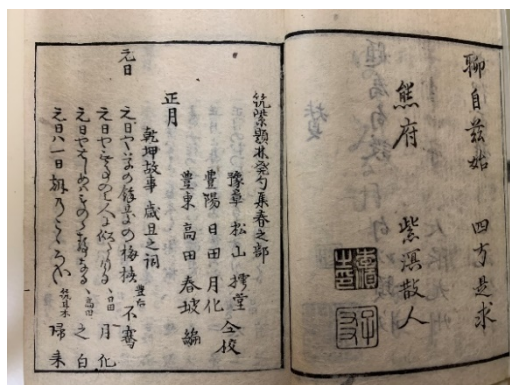
『西肥・佐嘉城東(歳旦)』 刊横一
雲左坊編 文政六刊



『秋風庵文集』 刊大二月化著
天保四跋刊



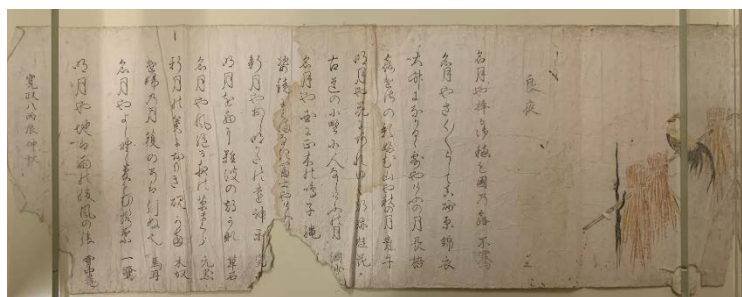
『筑紫題林発句集』 刊中四
春坡編 文化六刊



〔俳諧一枚刷〕 刊一舗
金屋画・似水他詠 とらの春刊



『不鶯公等月見発句一枚刷』 一
完来編 寛政八刊



一般書の部

『宜園百家詩(初編)』 半
八卷八冊 矢上行 天保一二刊



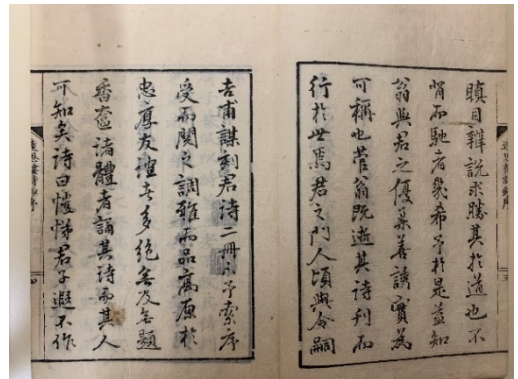
『宜園百家詩(二編)』 半
六卷三冊 樺島益親纂評 嘉永七刊



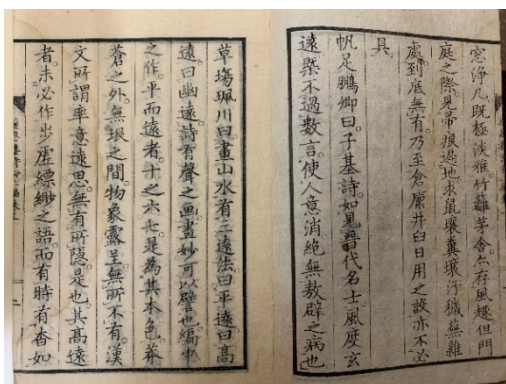
『宜園百家詩(三編)』 半
六卷三冊 広瀬貞基 嘉永七刊



『遠思楼詩鈔(初編)』 半
二卷二冊 広瀬淡窓 嘉永二刊



『遠思楼詩鈔(二編)』 半
二卷二冊 広瀬淡窓 嘉永二刊



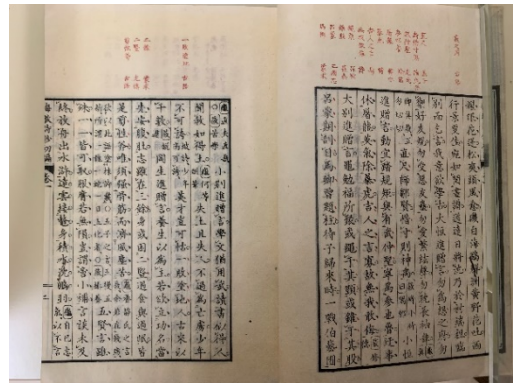
『淡窓小品』 半 二卷二冊
広瀬淡窓 嘉永二刊



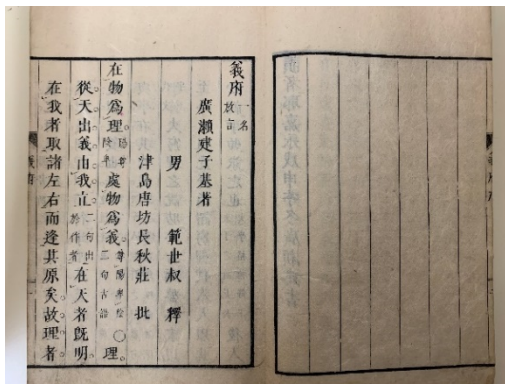
『梅墩詩鈔(初～四編)』 半
 八冊(各二卷二冊)
 広瀬旭莊 安政三後印刊



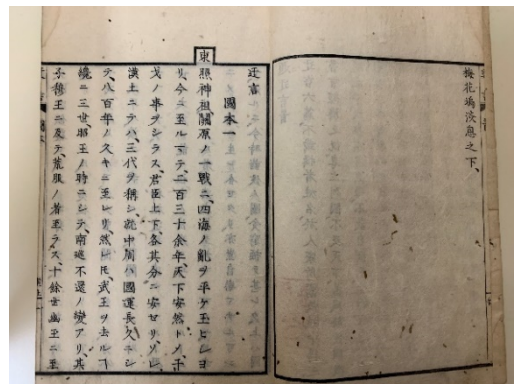
『梅墩詩鈔(初編)』 大 三冊
 広瀬旭莊 嘉永元刊



『義府』 大 一冊
 広瀬淡窓 嘉永二刊



『迂言』 大 三冊
 広瀬淡窓 天保十一序刊



『析玄』 大 一冊
 広瀬淡窓 天保十二刊

